

中期目標設定に係る委員からのご意見について

○委員からのご意見

- ・若年層へのアプローチは重要である。
- ・新型コロナウイルス感染症など、有事の採血体制も含めるべき。
- ・献血の周知度についてセミナー回数で評価するのは適切ではない。
- ・成分献血の推進が今後重要であり、項目に追加するのはどうか。
- ・中期目標に記載されている定義の意味等分かりやすくすべき。
- ・前回の中期目標設定の際の需要と実際の需要実績に乖離が生じたため、今回も現在の需要動向を見た上で目標値を検討すべき。
- ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大を踏まえ、企業、団体等への働きかけのあり方について検討すべき。
- ・指標の項目数については現行が妥当（増やす必要はないものはないものとする。）

○ご意見を踏まえた対応案について

- ・献血の周知度について
→従来の献血セミナー回数から、ラブラッドの会員数に変更。
- ・成分献血について
→今回、項目には追加しないが、原料血漿の確保状況をモニタリングの観点から成分献血特に血漿成分献血の献血者の年次推移について継続的に注視する。

※なお、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた採血・供給状況のモニタリングの必要性及び献血推進の取り組みについての効果測定の見点から、月別の採血計画及び供給計画の達成率並びに実献血者中ラブラッドの会員の占める割合についても併せて注視することとする。

- ・文言の明確化について。
→文言を明確化

- ・需要動向について。
→今回の目標値の設定については、日本赤十字社のシミュレーション結果のみならず、厚生労働科学研究「新たなアプローチ方法による献血推進方策と血液製剤の需要予測に資する研究（主任研究者：田中純子広島大学大学院教授）」の研究結果を踏まえて設定することとする。

- ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況下での対応について
→新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、献血の動向に変動が生じることを踏まえ、モニタリング項目を設定するとともに、中間年である令和5年度を目途としての見直しなど、再検証を行うものとする。

- ・企業、団体等への働きかけについて
- 集団献血の企業・団体については、中期目標とは別に、きめ細かくモニタリングするとともに、業界団体等と協議をするなどの献血推進としての対応を行うものとする。